



富山地方鉄道本線高架化工事起工式にて安全施工を祈念し杭打ちの儀を行う

こどもと過ごす時間も大切に

衆議院予算委員会にて、厚生労働部会長として党を代表して質疑

自転車活用推進議員連盟の一員として皇居一周コースをサイクリング

ひびき新聞 たばた裕明

〒930-0017
富山市東田地方町2丁目2-5
TEL: 076-471-6036
FAX: 076-471-6037

〒100-8982
千代田区永田町2丁目1-2
衆議院第2議員会館214号室
TEL: 03-3508-7704
FAX: 03-3508-3454

— 岸田政権では、「異次元の少子化対策」とは、①構造的賃上げ等と併せて経済的支援を充実させ、若い世代の所得を増やす②社会全体の構造や意識を変える③全てのこども・子育て世帯をフレキシブルに切れる目なく支援するの3つを基本理念としています。政府は令和5年当初から子育て支援加速化プラン取りまとめ議論を実施しており、私も自

— 岸田政権では、「異次元の少子化対策」を掲げています。今後の少子化対策、子育て支援について、どのようにお考えでしょうか。

まず、「異次元の少子化対策」とは、①構造的賃上げ等と併せて経済的支援を充実させ、若い世代の所得を増やす②社会全体の構造や意識を変える③全てのこども・子育て世帯をフレキシブルに切れる目なく支援するの3つを基本理念としています。政府は令和5年当初から子育て支援加速化プラン取りまとめ議論を実施しており、私も自



▲水橋地区の国営農地再整備事業において試験的に行われているタマネギ栽培の圃場にて

— ロシアによるウクライナ侵略や北朝鮮による核・ミサイル開発など、我が国を取り巻く安全保障環境は深刻さを増しています。お考えをお聞かせください。

— 自民党厚生労働部会長として様々な法案や予算案の議論を主導し、党としての方針を決定するという大変重い責務を果たされてきた一年間だったと思います。6月16日には、岸田政権が考える重要課題や来年度予算編成に関する基本的な方向性を示す「経済財政運営と改革の基本方針2023」（以下、通称「骨太の方針2023」）が閣議決定されたところですが、厚生労働部会長としてどのように関わられたのかお聞かせください。

— 自民党厚生労働部会長として様々な法案や予算案の議論を主導し、党としての方針を決定するという大変重い責務を果たされてきた一年間だったと思います。6月16日には、岸田政権が考える重要課題や来年度予算編成に関する基本的な方向性を示す「経済財政運営と改革の基本方針2023」（以下、通称「骨太の方針2023」）が閣議決定されたところですが、厚生労働部会長としてどのように関わられたのかお聞かせください。

国民目線での政策づくりを忘れるな！

国会議員として11年目の田畑。昨年8月には自民党厚生労働部会長に就任し、中堅議員として政策立案現場の最前線で精力的に活動中だ。与党政治家として経験を積み重ねており、ますます仕事の幅を広げ、実行力を高め、勢いに乗る田畑に国政への想いを聞いた。

— 自民党厚生労働部会長として様々な法案や予算案の議論を主導し、党としての方針を決定するという大変重い責務を果たされてきた一年間だったと思います。6月16日には、岸田政権が考える重要課題や来年度予算編成に関する基本的な方向性を示す「経済財政運営と改革の基本方針2023」（以下、通称「骨太の方針2023」）が閣議決定されたところですが、厚生労働部会長としてどのように関わられたのかお聞かせください。

令和5年4月 富山県議会 議員選挙 富山市第1選挙区は 自民党公認候補 8名が 全員当選!!

～同じ志で政治活動する各候補者の応援に駆け回った田畑～

中川忠昭 県議と
五十嵐務 県議と
種部恭子 県議と
奥野詠子 県議と
庄司昌弘 県議と
尾山謙二郎 県議と
大井陽司 県議と
藤井大輔 県議と

ご支援いただいた皆様へ心からの感謝を！

今春に執行された富山県議会議員選挙、田畑の地元である富山市第1選挙区（定数11名）では、自民党は現職6名、新人8名の計14名を公認候補として擁立した。田畑は衆議院議員として8名全員の必勝に向けて、国会会期中だったが、ほぼ毎晩富山市に戻り候補者応援に駆け回った。

「全員当選を自身の責任で必ず成し遂げる」と田畑は選挙前から口外しており、自身の後援会組織をフル稼働させるなど、気迫あふれる田畑の姿に地元政治関係者は舌を巻いていた。そして結果は8名全員当選であった。投票日翌日、田畑は安堵の表情で各候補者は明確な政治ビジョンを掲げ、富山県政を前進させる政策を明確に語っていたことが得票数に繋がった。

また、自民党を支持する富山市民の意思がしっかりと示された戦いだったと語った。国政も県政も、自民党が責任ある政治を進め、地域経済発展やウェルビーイング向上に繋げてもらいたい。

たばた裕明プロフィール

たばた事務所玄関にはチェーンソーアートによる手作りのくまさんが来訪者をお出迎え▶

たばた裕明

●選挙区
富山1区（区域は旧富山市）

●経歴
昭和48年1月2日 富山市生まれ
平成3年3月 富山県立富山東高等学校 卒業（27期生）
平成7年3月 獨協大学経済学部 卒業
平成7年4月 株式会社富山第一銀行入社
平成15年4月 富山市議会議員選挙初当選
平成17年、平成21年と計3期連続当選
平成23年4月 富山県議会議員選挙初当選
平成24年12月 第46回衆議院議員選挙 初当選（70,268票）
平成26年12月 第47回衆議院議員選挙 2期目当選（70,085票）
平成29年10月 第48回衆議院議員選挙 3期目当選（74,876票）
令和3年10月 第49回衆議院議員選挙 4期目当選（71,696票）

●内閣◀これまでの主な所属等▶
総務副大臣（令和3年10月～令和4年8月）
厚生労働大臣政務官（平成29年8月～平成30年10月）

●衆議院◀これまでの主な所属等▶
厚生労働委員会 理事 / 文部科学委員会 理事

●自由民主党◀現在の主な所属等▶
厚生労働部会 部会長 / 厚生労働部会 薬事に関する小委員会 委員長
厚生労働部会 協同労働推進 PT 座長 / 雇用問題調査会 働き方改革推進 PT 座長
社会保障制度調査会 事務局次長
社会保障制度調査会 医療委員会 難病等に関する PT 事務局次長

●議員連盟◀現在の主な役職▶
党風一新の会 事務局次長 / 製薬産業政策に関する勉強会 幹事
日本が誇る医療用外用貼付剤の推進に関する議員連盟 事務局次長
認知症グループホームを考える議員連盟 事務局次長
日本ケアマネジメント推進議員連盟 事務局次長
地域で安心して分娩できる医療施設の存続を目指す議員連盟 事務局次長
救急救命士を支援する議員連盟 事務局次長
自由民主党社会保険労務士議員懇談会 事務局次長
シルバー人材センター活性化議員連盟 事務局次長
ひきこもり支援推進議員連盟 事務局次長
LRT（Light Rail Transit）推進議員連盟 事務局次長
自由民主党日本・チュニジア友好委員会 事務局次長

令和5年7月15日現在

等身大のたばた裕明

第7話 三男坊が1歳になりました

皆様、日頃より大変お世話になっております。おかげさまで、家族一同元気に富山で暮らしております。

4月から長男は年長組に進み、次男はいよいよ年少組に入りお兄ちゃんと一緒に始めました。それぞれ出会いがあり、成長が感じられます。三男坊は6月に1歳を迎え、伝え歩きや階段であり盛夏には歩き出す模様。わんぱく三兄弟は目には見えない興味、なんでも動かし回っています。目が離せません。

政府では昨年末から少子化対策、子育て支援策の議論が続いてきました。乳幼児は急な発熱や、体調変化が頻発します。実際、我が家も長男がこの冬に急な発熱で夜間救急医療のお世話にもなりました。たまたま主人が在宅日だったので病院には主人が長男を連れていき、次男以下は私が自宅で夜を過ごしました。

子育て支援は経済的な支援が中心の印象を受けますが、子育て世帯を地域で孤立させず、医療的な支援の充実、生活面を含めた家事支援なども柔軟に対応できたらいいと感じることがたくさんあります。働いている方の子育てと仕事の両立支援も大事だと思います。

主人は自民党厚生労働部会長を務めており、少子化対策や子育て支援策について我が家でも話題の中心になっていたり、ママ友からいろいろお話を聞いたりして、多様な子育て世帯からのご意見を主人に伝えていきたいです。

妻・あみこ

支援策の議論が続いてきました。乳幼児は急な発熱や、体調変化が頻発します。実際、我が家も長男がこの冬に急な発熱で夜間救急医療のお世話にもなりました。たまたま主人が在宅日だったので病院には主人が長男を連れていき、次男以下は私が自宅で夜を過ごしました。

子育て支援は経済的な支援が中心の印象を受けますが、子育て世帯を地域で孤立させず、医療的な支援の充実、生活面を含めた家事支援なども柔軟に対応できたらいいと感じることがたくさんあります。働いている方の子育てと仕事の両立支援も大事だと思います。

主人は自民党厚生労働部会長を務めており、少子化対策や子育て支援策について我が家でも話題の中心になっていたり、ママ友からいろいろお話を聞いたりして、多様な子育て世帯からのご意見を主人に伝えていきたいです。

妻・あみこ

最新情報はこちら！

Facebook | YouTube | LINE | Twitter | Instagram | 公式サイト



それ、「たばた」が応援します。

自民党厚生労働部会長として国民の声を束ねて政策に！

～国民目線で暮らし、賃上げ、雇用環境、子育て環境、医療、福祉等の充実に常に全力を～



▲成田空港検疫所、輸入された馬肉の検疫体制を視察



▲福島第一原子力発電所廃炉業務動向を福田達夫代議士と共に視察



▲「おもてなし街なかゴミ拾い大作戦」に藤井裕久富山市長と共に参加



▲理学療法士やリハビリ専門職の方々と政策懇談会を実施



▲福島県の公立岩瀬病院にて電子処方箋対応の現状を視察

現場に向き丁寧に対話を重ねる！



▲G7富山教育大臣会合レセプション。永岡桂子文部科学大臣、カナダのマニトバ州教育大臣と。和装で参加



▲厚生労働委員会にて、国民の声を受け政府当局を質す



▲様々な団体より講演依頼が続く



▲萩生田光一政務調査会長に富山の細工かまぼこをPR



富山県議などを経て2012年衆院初当選(4期)元厚労相政務官 社会保障問題に取り組む



▲2週連続でBS11の『報道ライブインサイドOUT』に生出演。介護保険制度、年金制度改革をテーマに見解を述べる

生放送の報道番組に自民党を代表して出演し、堂々と政策を語る！

創業イノベーション推進

医薬品産業は今後の経済成長の中核となる重要な産業であるとともに、国民の生命の維持に直結する生命関連産業だ。一方で日本起源の医薬品が減少し、国内市場の縮小・世界市場に占めるシェアが減少するなど、我が国の医薬品産業の国際競争力・体力は低下している。田畑が所属する創業力の強化育成をはじめ、我が国の創業力の強化育成を促すPTとして岸田総理に政策申し入れを行った。直後に田畑に話を聞くこと、創業力強化の持続的な発展を目的とする国家戦略を早急に策定すべきこと語り、「今後も『薬都』や『まが』日本の医薬品産業の先頭に立ち、支え、業興の成長に貢献しては」と続けた。

▲創業力の強化育成に関するPTとして岸田総理に提言申し入れ

▲北陸三県若手薬剤師指導者育成フォーラムにて講師

医療・介護・障がい者福祉

公定価格により報酬が定められている分野において、昨今の物価高騰・賃上げに対応する新たな仕組みの確保が議論されてきた。田畑は部会長として党内議論において論点を整理し、説得力ある発言でその重要性を発信し続けてきた。結果、6月に決定の「骨太の方針2025」において、新たな措置を講じる旨の答弁を政府側より引き出すことに繋がる。詳細の総額は年末の予算編成過程で決着を付けることになった。

▲厚生労働部会長として政務調査会全体会議にて物価高騰等への対策強化の論陣を張る

▲とやま介護テクノロジー普及・推進センター開所式

▲国立国際医療研究センター およびセンター病院を視察

メンタルヘルス対策の一層の推進

自民党雇用問題調査会に「働き方改革推進プロジェクトチーム(PT)」が設置され、田畑は座長に就任した。早速5月に富山商工会議所会員の経営者らとオンライン意見交換会を開催し、中小企業のメンタルヘルス対策の現状や職場環境の改善課題について現場の声を傾けた。田畑はメンタルヘルス対策は突き詰めれば働きやすい職場環境づくりがカギだ。現在のストレスチェック制度を形骸化させず、分析結果を職場にフィードバックさせる仕組みづくりや、未着手の小規模事業所におけるメンタルヘルス対策にも目を向けていきたいと熱い思いを語った。

▲富山商工会議所会員の経営者より中小企業のメンタルヘルス対策の実態をヒアリング

▲ワーク・ライフバランス社の小室淑恵社長と勤務間インターバル規制の重要性について話し合う

感染症対策

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から3類へと移行した。飲食業界や観光業界を中心に経済活性化が期待される新たな日常が始まった。一方で、田畑は今後も起りうる感染症有事への対応に目を光らせる。5類になったからコロナが消えたわけではなく、後遺症治療などの医学的・科学的な調査研究は更に進めていきたい。政治的にも教訓と反省を踏まえてさらなる体制強化を図る必要があると厳しい表情で語った。

▲富山県衛生研究所にて積極的疫学調査への対応状況等を視察

▲国立感染症研究所を視察

難聴対策の推進

田畑は現在、全世代の難聴対策に取り組んでいる。難聴とは、特定の音が聞こえにくい状態のことを指し、先天的なものから加齢性、騒音性、伝音性、突発性などさまざまなタイプに分けられる。治療法は薬物治療や手術のほか補聴器で聞こえを補ったりするのが一般的だが、とりわけ田畑が力を入れているのは新生児聴覚検査の実施率の向上および全額公費負担だ。富山県は新生児聴覚検査実施率100%だが、検査費用は自己負担のため全国的には約13%の保護者が検査に同意していない。聴覚障害を早めに発見して適切にサポートすることを目的とした新生児聴覚検査の全国実施率向上に自民党厚生労働部会長として先頭に立ち取り組んでいる。

その他、新生児マスキング検査の推進など母子保健政策の充実にも注力している。

▲自民党難聴対策議員連盟主催で、「聞こえの健康チェック」展示会を開催。耳の健康に関するレクチャーを受けた後、初の補聴器装着体験

ひきこもり対策の立法化を目指す

内閣府が本年3月に公表した調査結果によると、ひきこもり状態にある人は全国で146万人と推計されている。生きづらさを感じている人への支援の重要性を指摘している田畑は、「ひきこもり支援推進議員連盟」を立ち上げ、事務局長として積極的に支援策の拡充に取り組んできた。

同議員連盟では定期的な勉強会を開催し、6月には萩生田光一政務調査会長、加藤勝信厚生労働大臣をはじめ担当大臣らに当面実施すべき政策提言を申し入れた。柱は、「ひきこもりの定義の見直し」および「支援マニュアル」の整備だ。田畑は、「現場実態に即した政策提言を今後も実行すると決意を新たにしている」。

▲ひきこもり支援推進議員連盟の勉強会にて、現場で活動されている方からヒアリング

▲加藤勝信厚生労働大臣へ、ひきこもり支援の充実に政策提言

自動車運送事業における時間外労働規制の見直し

令和6年4月より自動車運送者の労働時間等の基準が改正される。物流は国民生活や我が国の経済を支える社会インフラだ。携わる従業員数は約26万人(全就業者の3%)であり、国内貨物のモノ、別輸送量はトンベリで自動車9割超を占める。円滑な法施行に向けて、田畑は厚生労働部会長として国交省と連携しながら、法規制の内容周知や荷主・物流事業者間の独自の商慣行の見直し、トラックドライバーの賃金水準向上、長時間労働改善等に取り組んでいる。

たばた裕明事務所でも選挙区内のトラック運送企業約70社を個別に訪問して緊急アンケートを行うなど実態把握に努めており、物流の現場を支えたいと意気込みを見せられている。

▲自動車運送事業者の労働時間規制の見直し